

大阪観光局の事業について（今後の方向性）

背景

- ・観光立国推進において重要なマーケットであるアジア諸国の経済成長は著しく、円安効果も相まって訪日観光客の増加による日本・大阪経済への好影響の兆しが見られる。
- ・これらの好影響を持続、発展させ、観光立国日本を実現するためにも、2020 東京五輪・パラリンピックなど大規模国際大会を見据えた国際観光戦略の推進や、より一層の外国人旅行者の受入環境整備等が必要である。

今後の方向性

- 大阪観光局がオール大阪（将来的にはオール関西を見据えて）の観光プラットフォームとして、より牽引力のある団体となるよう、組織・事業を見直す。
- （組織）大阪を基軸とした関西広域観光の企画提案・推進ができる組織体制構築や、企画、広報、マーケティング部門の強化 など
  - （事業）関西広域連合、関西の経済団体・観光振興団体・地方公共団体との連携や、情報発信強化 など

具体的事業 ◎主な重点課題

【機能強化】

- ・民間企業との連携による広報、マーケティング機能の強化
- ◎関西広域観光の推進への積極的な役割
- ・理事長記者会見の定例化など、情報発信機能の強化
- ・自主財源の確保強化

【個別課題】

- ◎スポーツツーリズム、国際医療交流（メディカルツーリズム）、ショッピングツーリズム「文化、芸能の都・大阪」等の実現に向けた取り組み
- ・ナイトエンターティメント等の充実
- ◎出入国手続きの迅速化・円滑化

◎ホテル不足への対応検討

- ◎観光バス（駐車場）問題への取組
- ◎MICE 振興策の提言及び誘致活動
- ◎IR 構想の推進

- ・2019 年ワールドカップラグビー、2020 東京五輪・パラリンピック、関西ワールドマスターズゲームズ 2021 などの大規模国際大会に合わせた取組
- ・外国人観光案内所の設置運営

【個別事業】

- ・おおさか魅力満喫券（大阪府緊急経済対策事業）への協力
- ・大阪城 PMO との連携